

資料3

Ⅱ② 経営健全化計画の実施状況報告の概要について

○経営健全化計画の実施状況の報告を行った団体

事業区分	都道府県名	市区町村	会計名	概要掲載 ページ
交通事業	京都府	京都市	京都市高速鉄道事業特別会計	1
	熊本県	熊本市	交通事業会計	3
病院事業	北海道	美唄市	病院事業会計	5
市場事業	大阪府	大阪市	中央卸売市場事業会計	6
宅地造成事業	青森県	青森県新産業都市建設事業団	桔梗野工業用地造成事業会計	8
			百石住宅用地造成事業会計	10
	山口県	下関市	臨海土地造成事業特別会計	12
観光施設事業	青森県	弘前市	岩木観光施設事業特別会計	14
		黒石市	温泉供給事業特別会計	16
	奈良県	宇陀市	保養センター事業特別会計	17
	高知県	高知市	国民宿舎運営事業特別会計	19
その他事業	北海道	釧路市	釧路市設魚揚場事業会計	21

京都府京都市 京都市高速鉄道事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・収入増加策については、オール京都での人と公共交通優先の「歩くまち・京都」の実現に向けた公共交通の利用促進、増客に向けた様々な事業、駅ナカビジネスの拡大などを実施し、営業収益は計画を7億円上回る259億円となった。
- ・コスト削減策については、安全に留意した地下鉄設備の更新期間の延長や節電対策など、徹底したコスト削減に努めた。
- ・一般会計からの支援については、経営健全化対策出資金を繰り出すとともに、地下鉄駅賑わい創出事業への出資を行った。(128,645千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成21年度 (計画初年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)
当初計画 A		1,728,774	137,596	2,590,235	3,870,569
解消実績額 B		4,554,145	8,582,715	4,034,069	6,002,474
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		2,825,371	8,445,119	1,443,834	2,131,905
資金不足額	30,981,281	26,427,136	17,844,420	13,810,351	7,807,877

年度 区分	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	4,565,994	1,301,953	6,699,503
解消実績額 B	1,630,979	2,343,069	—
現在計画 C	—	2,343,069	6,699,503
B-A 又は C-A	△2,935,015	1,041,116	—
資金不足額	6,176,898	3,833,829	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。
- 2 資金不足解消額の平成25年度「解消実績額 B」が「当初計画 A」を下回ったのは、計画で見込んでいた5%相当の運賃改定を見送ったためである。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	平成 21 年度 (計画初年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足 比率	133.5	126.8	114.5	125.7	76.2	114.0	57.8	96.9	31.9

年度 資金 不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 30 年度 (第 10 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足 比率	73.6	24.4	66.6	14.8	—

備考

- 平成 26 年度、資金不足比率は経営健全化基準の 20% を下回る 14.8% となったが、一般会計からの経営健全化出資金の繰り入れなしで安定的に 20% を下回る見通しが立つ状況に至るまで、引き続き、経営健全化団体として、計画に掲げる健全化の取組を推進する。

熊本県熊本市 交通事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ バス事業の移譲
 H26 年 4 月に、渡鹿長嶺線を移譲
 H26 年度末をもって運行終了
- ・ 利用促進に向けた取り組み
 H26 年 10 月に新型超低床電車運行開始、市電 IC カードの定期券機能運用開始
 など
- ・ 経営の合理化
 職員数を 146 人から 101 人へ削減、電車惰行運転の励行等による電車電力使用量の削減、デジタルタコグラフの活用による燃費向上 など
- ・ 経営基盤の強化
 営業所用地等の売却、バス事業の移譲先へバス車両等の売却 など

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	平成 21 年度 (計画初年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		542,387	652,455	324,332
解消実績額 B		608,409	747,002	717,606
現在計画 C		-	-	-
B-A 又は C-A		66,022	94,547	393,274
資金不足額	5,533,795	4,925,386	4,178,384	3,460,778

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	397,724	925,474	521,972	1,728,973
解消実績額 B	467,599	1,071,531	848,241	-
現在計画 C	-	-	848,241	1,728,973
B-A 又は C-A	69,875	146,057	326,269	-
資金不足額	2,993,179	1,921,648	1,073,407	-

備考 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.2	206.2	202.1	182.1	176.0	171.1	153.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	155.8	154.4	111.9	100.4	89.4	58.3	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 資金不足比率を経営健全化基準未滿とするための各方策について検証・評価を行う検証シートを作成・公表し、経営健全化計画の着実な実施を図った。

北海道美唄市 病院事業会計
経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 人件費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・ 一般会計からの繰入れについては、概ね当初計画どおり実施。(842,496千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A			12,769	△87,160	54,438
解消実績額 B			37,901	△48,522	260,826
現在計画 C			—	—	—
B-A 又は C-A			25,132	38,638	206,388
資金不足額		1,492,513	1,454,612	1,503,134	1,242,308

区分	年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		145,916	435,886	565,742	373,920
解消実績額 B		283,658	191,983	510,156	—
現在計画 C		—	—	565,742	373,920
B-A 又は C-A		137,742	△243,903	△55,586	0
資金不足額		958,650	766,667	256,511	—

備考「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率		134.0	115.8	113.6	120.1	126.9	115.6	100.8

資金不足比率	年度	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
		計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率		104.6	79.1	71.2	63.1	27.9	20.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 市民に信頼される病院づくりについては、計画どおり実施。
- ・ 経営形態の見直しについては、計画どおり実施。

大阪府大阪市 中央卸売市場事業会計

経営健全化計画実施状況報告（要旨）

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 収入における方策について
 - (1) 入居促進を実施
 - (収入額) 計画額 131 百万円 → 実績額 206 百万円 (75 百万円増)
 - ※平成 25 年度新規入居者の使用料収入が通年になったことによる増
- ・ 支出における方策について
 - (1) 人員削減
 - (人件費) 計画額 921 百万円 → 実績額 744 百万円 (177 百万円減)
 - ※計画期間の人員削減累積数による減
 - (2) 業務委託化の推進と物件費の増加抑制
 - (物件費) 計画額 2,377 百万円 → 実績額 2,678 百万円 (301 百万円増)
 - (3) 投資的経費の見直し
 - (建設改良費) 計画額 951 百万円 → 実績額 127 百万円
- ・ その他の資金収支を改善する方策について
 - 資本費平準化債の発行
 - 計画額 2,684 百万円 → 実績額 2,346 百万円

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		936,864	1,723,266	1,651,809	1,235,306
解消実績額 B		1,349,452	2,091,196	2,611,340	1,667,456
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		412,588	367,930	959,531	432,150
資金不足額	12,658,410	11,308,958	9,217,762	6,606,422	4,938,966

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	1,526,461	1,511,696	2,202,966	1,939,099
解消実績額 B	1,984,192	1,548,126	—	—
現在計画 C	—	1,511,696	2,202,966	1,939,099
B-A 又は C-A	457,731	36,430	0	0
資金不足額	2,954,774	1,406,648	—	—

備考

- 1 計画初年度から当該年度の前年度（25 年度）までは解消実績額を、当該年度（26 年度）については解消実績額と現在計画とを、当該年度の翌年度以降（27 年度以降）については現在計画による額を記載している。
- 2 計画初年度から当該年度（26 年度）における「B-A 又は C-A」欄には、B-A の額を記載している。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	198.7	189.8	178.8	164.4	146.7	137.5	106.3	116.2	80.9

年度 資金 不足比率	平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	92.8	48.6	68.7	23.3	32.0	—	—	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ 仲卸業者の経営基盤強化策の実施
中小企業診断士などの専門家派遣相談の継続実施 等
- ・ 市場の情報化への取組み
取引情報電子化に向けて情報の規格化を推進
- ・ 環境対策の推進
太陽光発電設備の維持管理 等

青森県新産業都市建設事業団 桔梗野工業用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 八戸市からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(80,571 千円)
- ・ 他会計剰余金からの長期借入れについては、増額のうち継続実施。(1,342,000 千円)
- ・ 平成 48 年度までに軟弱地以外の 2 区画分譲の当初計画に対し、軟弱地以外 1 区画等を分譲。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)
当初計画 A		527,844	644,853	80,689	80,422
解消実績額 B		527,844	644,929	79,933	111,595
現在計画 C		—	—	—	—
B-A 又は C-A		—	76	△756	31,173
資金不足額	3,406,388	2,878,544	2,233,615	2,153,682	2,042,087

年度 区分	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
当初計画 A	80,437	80,711	80,605	80,715	113,211
解消実績額 B	82,152	227,420	—	—	—
現在計画 C	—	227,420	80,605	80,715	37,426
B-A 又は C-A	1,715	146,709	—	—	△75,785
資金不足額	1,959,935	1,732,515	926,040	441,569	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	453.8	383.5	383.5	297.9	297.8	287.1	287.4

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)	
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	276.4	277.6	265.7	265.9	254.9	234.4

年度 資金 不足比率	平成 36 年度 (第 16 年度)	平成 42 年度 (第 22 年度)	平成 48 年度 (第 28 年度)
	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	147.2	82.5	15.0

青森県新産業都市建設事業団 百石住宅用地造成事業会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ おいらせ町からの補助金の繰入れについては、当初計画どおり実施。(100,000 千円)
- ・ 新たに他会計剰余金からの長期借入れを実施。(300,000 千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		744,760	104,000	104,000
解消実績額 B		731,395	105,934	107,834
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△13,365	1,934	3,834
資金不足額	1,676,133	944,738	838,804	730,970

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)
当初計画 A	104,000	104,000	104,000	99,373
解消実績額 B	106,228	106,959	399,480	—
現在計画 C	—	—	399,480	38,406
B-A 又は C-A	2,228	2,959	295,480	△60,967
資金不足額	624,742	517,783	118,303	—

備考 「現在計画C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	980.9	562.3	563.4	542.0	546.6	493.3	608.5

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 30 年度 (第 10 年 度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	440.4	556.1	382.8	518.8	319.8	118.8	—

山口県下関市 臨海土地造成事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

平成26年度は、以下のことを実施した。

- ・あるかぼーと13番21及び13番22の造成地(1,146㎡)について、飲食店を誘致するための民間事業者を決定し、事業用定期借地による貸付けを行った。
- ・資金不足を解消するため、土地開発基金から無利子で2億円の資金を借り入れた。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成23年度)	平成24年度 (第2年度)	平成25年度 (第3年度)
当初計画 A		△155,432	△1,111,063	110,857
解消実績額 B		96,453	△1,248,435	166,736
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		251,885	△137,372	55,879
資金不足額	1,300,695	1,204,242	2,452,677	2,285,941

区分 \ 年度	平成26年度 (第4年度)	平成30年度 (第8年度)
当初計画 A	227,176	3,627,880
解消実績額 B	223,114	—
現在計画 C	223,114	3,627,880
B-A 又は C-A	△4,062	—
資金不足額	2,062,827	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 23 年度)		平成 24 年度 (第 2 年度)		平成 25 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	25.8	32.4	26.8	60.1	57.8	59.0	55.8

年度 資金 不足比率	平成 26 年度 (第 4 年度)		平成 30 年度 (第 8 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	54.5	51.5	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・ ホームページに売却用地の情報を掲載するとともに、企業誘致の観点から部局間で連携し、積極的な販売促進活動を行った。
- ・ 平成 27 年度より新港地区・長州出島において産業振興用地の整備を行うため、平成 27 年 3 月に市議会の議決を経て、経営健全化計画を変更した。

青森県弘前市 岩木観光施設事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・料金体系の見直しについては、検討の結果、現状維持。
- ・入込客数については、営業開始を2日間前倒ししたものの、悪天候などの影響から減少。しかし、ニーズに合わせた商品及びサービスの充実、底辺拡大イベントの開催など、利用促進対策を積極的に講じたことによりリフトやロープトウの利用者は前年度に比べて増加。
- ・収入額は前年度に比べて微増し、一般会計からの繰入れは計画どおり実施(178,900千円)。
- ・大規模改修については、経費支出の平準化と軽減を図るため、計画的なメンテナンススケジュールを組んで実施。
- ・指定管理内容の検討については、平成22年度から見直しを実施。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)
当初計画 A		10,994	9,261	118,379	131,947	131,947	131,947
解消実績額 B		6,793	11,443	162,996	131,095	126,801	126,305
現在計画 C		—	—	—	—	—	126,305
B-A 又は C-A		△4,201	2,182	44,617	△852	△5,146	△5,642
資金不足額	664,747	657,954	646,511	483,515	352,420	225,618	99,313

年度 区分	平成27年度 (第7年度)
当初計画 A	130,272
解消実績額 B	—
現在計画 C	99,313
B-A 又は C-A	△30,959
資金不足額	—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初 年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	1,879.4	1,789.4	2,106.3	1,815.4	1,955.2	1,482.0	1,430.8	1,110.3	1,083.2	738.6	687.3

年度 資金 不足比率	平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	366.9	296.2	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・弘前市内の4スキー場のあり方等について、庁内関係課による検討会議で方針を決定。

青森県黒石市 温泉供給事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・事務管理委託料の見直しについては、当初計画どおり経費節減を実施。
- ・温泉使用料を平成 25 年 8 月から 18%値上げ改定実施（前年度（H25）と比較し約 1,000 千円増収）。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施（17,021 千円）。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分	年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)
当初計画 A			21,065	24,521	23,349	26,118	19,318	25,492
解消実績額 B			24,731	26,571	20,983	24,378	24,371	24,621
現在計画 C			—	—	—	—	—	24,621
B-A 又は C-A			3,666	2,050	△2,366	△1,740	5,053	△871
資金不足額		165,435	140,704	114,133	93,150	68,772	44,401	19,780

区分	年度	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A		25,572
解消実績額 B		—
現在計画 C		25,572
B-A 又は C-A		0
資金不足額		—

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

区分	年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)		平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		
		実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	
資金不足比率		1,417.3	991.7	955.0	815.4	693.6	656.5	585.1	478.8	435.4	302.1	258.3

区分	年度	平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
		計画値	実績値	計画値
資金不足比率		144.9	108.8	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・特になし。

奈良県宇陀市 保養センター事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・平成 22 年 10 月 1 日から株式会社休暇村サービスによる指定管理運営を行っており、宇陀市保養センター事業特別会計は同日から宇陀市商工観光課の主管となり、引き続き宇陀市保養センター事業特別会計とその経営健全化計画の管理をしていくことになった。
- ・平成 26 年度の一般会計からの繰入については、平成 25 年度に変更した計画どおりに実施した。
- ・資金不足額及び資金不足比率は前年に比べて大きく減少した。しかし、指定管理者の営業収益が当初計画に対して少額だったこと等の要因により、資金不足比率は計画どおりの減少には至らなかった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		98,216	64,200	△144,581
解消実績額 B		43,911	△6,909	91,870
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△54,305	△71,109	236,451
資金不足額	1,276,441	1,232,530	1,239,439	1,147,569

区分 \ 年度	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 28 年度 (第 8 年度)
当初計画 A	70,480	△93,905	351,537	262,404
解消実績額 B	80,272	△65,722	332,809	—
現在計画 C	—	—	332,809	262,404
B-A 又は C-A	9,792	28,183	△18,728	0
資金不足額	1,067,297	1,133,019	800,210	360,683

区分 \ 年度	平成 32 年度 (第 12 年度)
当初計画 A	174,709
解消実績額 B	—
現在計画 C	174,709
B-A 又は C-A	0
資金不足額	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 \ 資金不足比率	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	275.1	267.8	291.2	237.0	333.7	251.7	316.1

年度 \ 資金不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 28 年度 (第 8 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	224.2	287.2	306.1	297.2	213.6	215.2	94.9

年度 \ 資金不足比率	平成 32 年度 (第 12 年度)
	計画値
資金不足比率	—

高知県高知市 国民宿舎運営事業特別会計

経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・ 平成 26 年度の計画で収益的収入については前年度実績額より 7 千円減の 35,273 千円、それに伴う収益的支出については前年度実績額より 946 千円減の 7,950 千円と見込んでいたが、収益的収入の実績額については繁忙期における台風の影響による宿泊キャンセルを要因とする指定管理者納付金の減額により 32,280 千円と計画を下回り、収益的支出の実績額については宿泊予約システムの更新の実施により 9,099 千円と計画を上回る結果となった。
- ・ 計画と比較して、資金不足額については、10,815 千円の増加となり、平成 26 年度の資金不足比率については、営業収益額が計画を下回ったことと、施設整備の入札減等による総支出額の減少に伴い、総支出額に対する元利償還金の割合が増加したことで、一般会計負担割合が増加したことが要因となり、計画値 382.2%に対し、実績値 401.5%となった。

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

年度 区分	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)	平成 22 年度 (第 2 年度)	平成 23 年度 (第 3 年度)
当初計画 A		△35,907	△97,249	60,060
解消実績額 B		△28,087	△87,944	48,850
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		7,820	9,305	△11,210
資金不足額	765,310	793,397	881,341	832,491

年度 区分	平成 24 年度 (第 4 年度)	平成 25 年度 (第 5 年度)	平成 26 年度 (第 6 年度)	平成 27 年度 (第 7 年度)
当初計画 A	73,620	118,168	128,414	154,178
解消実績額 B	△454,604	109,814	125,963	
現在計画 C	—	—	125,963	164,379
B-A 又は C-A	△528,224	△8,354	△2,451	10,201
資金不足額	1,287,095	1,177,281	1,051,318	886,939

年度 区分	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
当初計画 A	267,669	242,434	261,353	271,484
解消実績額 B				
現在計画 C	267,669	242,434	261,353	271,484
B-A 又は C-A	0	0	0	0
資金不足額	619,270	376,836	115,483	—

備考

- 1 「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

年度 資金 不足比率	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成 21 年度)		平成 22 年度 (第 2 年度)		平成 23 年度 (第 3 年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	238.0	248.0	240.2	250.5	246.7	247.1	279.7

年度 資金 不足比率	平成 24 年度 (第 4 年度)		平成 25 年度 (第 5 年度)		平成 26 年度 (第 6 年度)		平成 27 年度 (第 7 年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	225.4	457.7	429.3	436.8	382.2	401.5	325.5

年度 資金 不足比率	平成 28 年度 (第 8 年度)	平成 29 年度 (第 9 年度)	平成 30 年度 (第 10 年度)	平成 31 年度 (第 11 年度)
	計画値	計画値	計画値	計画値
資金不足比率	227.2	138.2	42.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・平成 22 年度から 10 年間にわたり改築資金の起債元金について一般会計から繰入を行い、資金不足比率の改善を図る。

北海道釧路市 釧路市設魚揚場事業会計
経営健全化計画実施状況報告(要旨)

1 計画と具体的な措置の状況

- ・施設管理費等の削減については、概ね当初計画どおり実施。
- ・一般会計からの繰入れについては、当初計画どおり実施。(378,172千円)

2 資金不足額解消の状況

(単位：千円)

区分 \ 年度	計画初年度の 前年度	計画初年度 (平成21年度)	平成22年度 (第2年度)	平成23年度 (第3年度)
当初計画 A		287,301	281,218	298,407
解消実績額 B		279,469	271,397	297,423
現在計画 C		—	—	—
B-A 又は C-A		△7,832	△9,821	△984
資金不足額	2,913,900	2,634,431	2,363,034	2,065,611

区分 \ 年度	平成24年度 (第4年度)	平成25年度 (第5年度)	平成26年度 (第6年度)	平成30年度 (第10年度)
当初計画 A	295,466	295,716	295,912	297,934
解消実績額 B	302,067	329,773	317,338	—
現在計画 C	—	—	295,912	297,934
B-A 又は C-A	6,601	34,057	21,426	0
資金不足額	1,763,544	1,433,771	1,116,433	—

備考「現在計画 C」とは、現時点での解消見込額のことをいう。

3 資金不足比率の状況

(単位：%)

資金不足比率 \ 年度	計画初年度 の前年度	計画初年度 (平成21年度)		平成22年度 (第2年度)		平成23年度 (第3年度)	
	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値
資金不足比率	2,933.9	2,854.7	3,320.5	2,555.4	3,117.3	2,230.2	2,503.2

資金不足比率 \ 年度	平成24年度 (第4年度)		平成25年度 (第5年度)		平成26年度 (第6年度)		平成30年度 (第10年度)
	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値	実績値	計画値
資金不足比率	1,908.3	2,448.0	1,586.1	2,024.7	1,263.7	1,170.1	—

4 その他経営の健全化に必要な事項の措置の状況

- ・なし